

学校教育部長目標

学校教育部長

江原 勝美(えはら かつみ)



当部の仕事を通して貢献しているSDGsの主なゴール



学校教育部の仕事

学校教育部は、学校教育課、保健給食課、教育センターの3課で構成されています。学校教育課では、市立の小・中学校及び幼稚園の教育内容の指導、県費負担教職員・市費負担の支援員等の人事事務、就学事務などを担当し、保健給食課では、2つの学校給食センターへの指導をはじめ、学校保健、学校給食、食育などを担当しています。教育センターでは、学校教育に係る調査研究、教職員の研修、ICT教育、教育相談などを担当しています。

学校教育部の令和3年度の目標

学校教育部の今年度の重点的な目標は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、教育ネットワーク事業などのICT環境整備事業、教育相談アドバイザー支援事業、学校給食センター再整備事業の推進などを行ってまいります。

目標達成に向けた重点事業

	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	教育ネットワーク事業などのICT環境整備事業	「GIGAスクール構想」で整備された端末を活用した学習を推進し、教育用ネットワークがより円滑に活用できるよう整備します。	学校が積極的にICTを活用した教育活動や情報発信ができるよう、教員のICT活用研修会の実施、教育ネットワークの運用・管理、ICT環境の整備を進めます。	・学校から直接インターネットにつながることのできる回線の整備を進めるとともに、GIGAスクールサポーターを4校に1名配置し、教員の活用力向上を図りました。
2	教育相談アドバイザー支援事業	・医療、心理士、福祉の専門家をアドバイザーとして依頼し、児童生徒・教師・保護者への支援を行います。 ・健やか輝き支援事業と合わせて、学校巡回とケースカンファレンスを通して、子どもたち一人一人に寄り添った児童生徒理解に基づき、組織的に対応できる体制を支援します。	・医療・心理・福祉のそれぞれの専門家を学校へ派遣し、専門的な見地から児童生徒・保護者への指導、学校の組織的対応等について支援します。 ・心理士、スクールカウンセラーを学校に派遣し、教育相談体制と教職員の資質向上を支援します。	・心理の専門家を学校へ派遣し、スクリーニング等を通して専門的な立場からの指導・組織的な対応について助言いただき、成果を上げることが出来ました。 ・心理士、スクールカウンセラー等を各学校へ派遣し、延べ8,082回の相談を行いました。
3	学校給食センター再整備事業	・安全安心な学校給食を安定的に提供するために、老朽化した学校給食センターの再整備、学校給食施設の改修を行う事業です。	・学校給食センターの再整備を計画的に進めます。 ・学校給食施設の施設設備の改修を計画的に進めます。	・学校給食センター再整備事業については、事業契約締結から解体準備工事まで計画通り進めました。